社協だより　つながりと 支えあいでつくる みんなのしあわせ

ささやま

12
第117号
平成28年11月21日発行

CONTENTS

P2-3　特集
・赤い羽根共同募金70周年
・地域をよくする企業の活動
・歳末たすけあい運動の開始
P4-5　NEWS福祉
・第12回篠山市障害者スポーツフェスティバル
・喫茶ふれあい
・ファミリーサポートセンター交流会
・福祉体験サポートボランティア養成講座
・社協会費納入のお礼
P6　福祉INFORMATION
・インフルエンザについて
P7　・ボランティアNAVI
・心配ごと相談日
・篠山市の福祉指標
P8　情報ボックス
・篠山市ファミリーサポートセンター
・善意銀行だより

10月1日より「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。篠山市では、引き続き12月の「歳末たすけあい運動」まで、募金活動を行いますので、よろしくお願いします。

10月9日（日）、丹波篠山味まつりにおいて、日本ボーイスカウト連盟篠山第1団の皆さんと共に、街頭募金活動を行いました。

編集発行　社会福祉法人 篠山市社会福祉協議会
〒669-2205 兵庫県篠山市網掛301番地
☎(079) 590-1112／FAX (079) 590-1123
▼ホームページ
http://www.sasayama-wel.or.jp/

じぶんの町をよくするしくみ。

共同募金運動は、おかげさまで70周年

寄付者の皆さん、ボランティアの皆さんに、心よりお礼申しあげます

「困ったときはお互いさま」の活動として

昭和20年、日本は、敗戦による深刻な社会的混乱の真っただ中にありました。戦争で犠牲になった多くの人の遺族をはじめ、空襲の被災者、復員軍人、戦時産業からの失業者等、多くの方々が生活援護の必要に迫られていました。

このような状況の中、昭和22年（1947）年に「国民たすけあい運動」として、「第1回共同募金運動」が全国的に展開されました。

当初は、公的な施策が整っていない状況のなか、住まいを焼かれたり、親をなくした孤児たちの支援に重点がおかれ、支援が実施されました。

第2回（昭和23年）のポスター

給食サービス事業へも配分しています

今年で70回目の共同募金

地域では、社会的孤立の状態にある方が増加するとともに、生活困窮、不登校や引きこもり、虐待などの課題が顕在化しています。

課題に対する新しい制度は次々と取り入れられていますが、制度ができると必ず「すき間」がうまれます。共同募金はこのすき間を埋めるべく、刻々と変化するニーズに臨機応変に対応し、課題に即応した、解決の仕組みづくりを推進してきました。

今後も、地域の皆さんや関係機関と協働して、地域や社会課題の解決の必要性を提起し、地域の福祉力を高めていくことが求められています。

当会では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題解決に取り組む「じぶんの町を良くするしくみ。」として、地域のさまざまな活動を支援しています。

当委員会では、70周年を迎えることを契機に、寄付者やボランティアの皆さんに感謝の気持ちを伝えるとともに、今後も共同募金運動を広くアピールしていきます。

表彰を受ける、日本ボーイスカウト連盟篠山第1団

今年も多くの皆さんにご協力をいただきました

今年も市民の皆さんをはじめ、企業や事業所の皆さんより、多くの募金をお寄せいただきました。また、募金ボランティアとして街頭募金活動にご協力いただいた、民生委員様をはじめ福祉委員様、児童・生徒の皆さん、ありがとうございました。

今後とも、ご協力よろしくお願いします。

市内のイベントで街頭募金を実施しました。

地域をよくする企業の活動

募金百貨店プロジェクト

11月1日（日）、市内2企業（3事業所）において、募金百貨店プロジェクトが、スタートしました。

25年度から始まった募金百貨店プロジェクトは、協力店で購入いただいた対象商品の売上の一部が、募金となる仕組みです。本プロジェクトは、共同募金委員会、企業、市民の三者に、それぞれメリットがあるプロジェクトとなっています。

期間は12月末までとなっており、いただいた募金は篠山市共同募金委員会を通じて、翌年からの篠山市の地域福祉活動のための財源となります。

各協力店をぜひ、ご利用いただければと思います。

募金百貨店プロジェクト
赤い羽根共同募金

まけきらいの湯

丹波篠山黒豆フロランタン

こんだ薬師温泉

実施企業名	事　業　所	内　　容
株式会社夢こんだ	①こんだ薬師温泉ぬくもりの郷	①温泉入浴１名につき２円の募金
株式会社アクト篠山	①大正ロマン館	①丹波篠山黒豆フロランタン購入で募金（20枚入りで10円、12枚入りで６円の募金）
	②ささやま荘	②まけきらいの湯入浴１名につき２円の募金

歳末たすけあい運動の開始

つながり ささえあう みんなの地域づくり

12月1日より「歳末たすけあい運動」が始まります。

お寄せいただいた募金は、新たな年を迎える時期に、誰もが地域で安心して暮らすことができるよう「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をめざして、住民の皆さんの主体的な参加や協力によって支えられている、下記の歳末たすけあい運動配分事業に活用させていただきます。

地域歳末ふれあい交流事業

年末年始に地域で交流活動や、福祉に関する学習活動を実施する団体に、25,000円を上限として、必要経費の一部を助成します。

一人暮らし高齢者友愛訪問事業

65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員が安否確認を兼ねて、鉢植えを贈ります。

障がい者福祉事業所支援事業

障がい者福祉事業所の運営に関する事業や活動に、必要経費の一部を助成します。

短期里親配分事業

年末年始に実施する短期里親事業において、里子受け入れ家庭に支援協力金と、里子には図書カードを贈ります。

ご支援ご協力を、よろしくお願いします。

楽しいひとときをみんなで実感

第12回　篠山市障害者スポーツフェスティバル

10月18日（火）、篠山スポーツセンターにおいて、第12回篠山市障害者スポーツフェスティバルが、開催されました。

この大会は、障がい者が、スポーツを通じて、体力の増進と、障がい者に対する理解と交流を広めることを目的としています。

当日は、市内9か所の障害者施設・事業所より101名、岡野・かやのみ幼稚園児49名、スタッフ、ボランティア50名が参加しました。

開会式では、篠山通園センターの奥山和真さんが、「一人ひとりが楽しみ、お互いに支えあい、けがなく楽しく一日を過ごすことを誓います」と宣誓し、競技がはじまりました。パン食い競争や大玉転がしなどの競技が行われ、障がい者と園児がペアとなり、力をあわせてゴールを目指す姿に「がんばれ」と声援が送られました。

風船を使ったスプーンレース

また、園児たちによるダンスやマジックショーが披露され、参加者の笑顔が広がりました。スポーツ体験コーナーでは、よさこいやフライングディスクなどのスポーツにチャレンジし、さわやかな汗を流しました。

園児によるダンスショー

フェスティバル実行委員長の高見郁雄さんは、「スポーツを通じて交流が深まり、楽しい一日となりました。」と話されました。

フェスティバルの開催にあたって、当日の企画や進行を篠山市スポーツ推進委員会の皆さんに、また、会場支援を篠山市ボランティア連絡協議会の皆さんに、ご協力をいただきました。

ありがとうございました。

篠山市社協
特別企画

冬休み・ささっこ食堂

12月25日（日）～28日（水）

時間：AM10:00～14:00

家庭の都合によって、冬休み期間中に、自宅において一人で過ごすことの多くなるこどもを対象に「冬休み・ささっこ食堂」を開催します。食堂では、冬休み期間中のこどもの居場所づくりをめざして、宿題やレクリエーション（例えば、クリスマスケーキづくり…。）を通して仲間づくりを進めていきます。

事前にお申込みいただければ、誰でも参加できますので、ご希望の方は、下記よりご連絡ください。

★お問い合わせ先　篠山市社会福祉協議会　総務課（松本・林）
篠山市網掛 301　☎ 590-1112　FAX 590-1123

- **開催場所**　丹南健康福祉センター　喫茶ふれあい（1F）
- **参加料**　中学生以下は無料、その他は300円。
- **その他**　送迎が必要な人は、対応しますのでご連絡ください。

ファミリーサポートセンター交流会
～子どもと大人のリトミックタイム～

10月12日（水）、四季の森生涯学習センターで、ファミリーサポートセンター交流会を行いました。

三村裕子（みむらひろこ）先生（CRESC.（クレス）ピアノ・リトミック教室主宰）によるリトミック。5月に続く2度目の今回は、オータムバージョンで、ハロウィン一色の内容となりました。

まず、全員の名前を呼んでもらってから、ストップ、ジャンプなど、ピアノのリズムで体を動かし、軽くウォーミングアップします。

そのあと、かぼちゃのかごを作り、それを持ってみんなでお散歩に出かけました。途中、パラバルーンやかぼちゃおばけが登場するなど、ママたちも大盛り上がりです。

最後は、「トリック・オア・トリート！」の声掛けで、先生からプレゼントをもらい、大人も子どもも、大満足でした。

「こんなに体を動かしたのは、久しぶり！」と笑顔のママ。子どもたちよりも、がんばってくれたかもしれません。おつかれさまでした。

社協会費納入のお礼

本年6月に、自治会長様を通じてお願いしました社協会費が、みなさまのご理解、ご協力のもと、総額7,643,220円（10月末現在）となりました。厚くお礼申しあげます。

唯一の自主財源である社協会費は、地域福祉事業、在宅福祉事業、ボランティア活動及び福祉団体の育成等、地域福祉向上のために、有効に活用させていただきます。

篠山市社会福祉協議会は、地域福祉活動を担う中核機関として、一層の努力をしてまいりますので、今後とも、みなさまのご支援ご協力をいただきますようお願い申しあげ、会費納入のお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

福祉学習を通して、子ども達とつながりを
福祉体験学習サポートボランティア養成講座

10月31日（月）、11月7日（月）の2日間、丹南健康福祉センターにおいて、社会福祉協議会が行う小中学校での福祉体験学習において、講師をサポートするボランティアを養成する福祉体験学習サポートボランティア養成講座を行いました。

車いす、アイマスク体験をとおして、相手の目線に合わせた姿勢や声掛けの必要性、相手に不安を与えないよう無理なく安全に行うことを学びました。

受講生からは、「全く見えない状態で、歩くのは本当に怖い。介助者の声掛けが大事だと感じた。」「学んだことを実践できる場があれば、早く体験したい。」といった不安と期待の混じった声が聞かれました。

今後、小中学校の福祉学習の授業に出向いて、社協職員と一緒に活躍いただく予定です。

インフルエンザについて

インフルエンザと風邪とは症状も原因も異なります

だんだん寒くなってくると、テレビなどでインフルエンザや、ノロウイルスなどの感染症が流行し始めたと報道が出てきます。流行しないようにするためには、「予防」を行っていくことが大切となります。一人ひとりが「かからない」「うつらない」ようにすることが大切となります。今回は、インフルエンザのことについてお話します。

●「風邪」と「インフルエンザ」の違い

「風邪」は呼吸器の急性炎症です。症状としてのどの痛み、鼻水、咳などです。比較的ゆっくり発症します。「インフルエンザ」は、ウイルスに感染することによって起こる病気です。インフルエンザに感染すると、1～5日の潜伏期間の後、38度以上の高熱や筋肉痛などの全身症状が現れ、急激に発症します。高齢者や呼吸器疾患、心疾患などを持病で持っている人は、重症化しやすく、注意が必要です。

●予防として

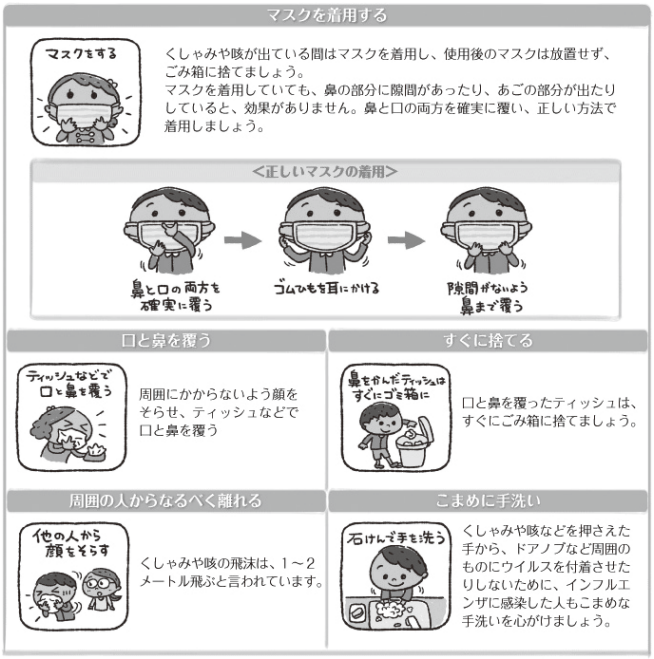
外出先から帰宅したときや、調理の前後、食事前などこまめに手を洗うようにしましょう。

十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。また、予防接種を受けることで、発症しても症状が重くなることを、防ぐことができます。

冬になると、寒くなるため空気が乾燥しやすくなります。空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。そのため、ウイルスを寄せやすくなります。加湿器の利用や、タオルを湿らして室内に干したりすることで、適切な湿度（50～60%）を保つことも大切です。

くしゃみやせきなどで、唾液や鼻水などが水滴となって飛び散り感染するため、マスクをつける。他の人にうつさないようにするために、正しいマスクの着用と、咳エチケットを守りましょう。

また、人ごみの多いところは避けるようにしましょう。



●インフルエンザかなと思ったら

早めに医療機関に行くようにしましょう。また、水分補給と睡眠は十分にとるようにしましょう。症状が治まっても薬は途中でやめずに、医師の指示に従って正しく服用するようにしましょう。

ボランティアNAVI

受講生募集！

災害ボランティアリーダー養成講座

熊本地震、丹波市豪雨災害と、いつ起こるかわからない災害に、関心を持ち、備えることが必要です。

災害が起こったとき、どのように行動するのか、求められるボランティアは何か、一緒に学びませんか･･･

多くの方の参加をお待ちしています。

と　　き　1月12日（木）、1月18日（水）全2回
午後7時～9時

と こ ろ　篠山市立丹南健康福祉センター

内　　容
・篠山市の防災について
・災害時のボランティアセンターの運営と活動について
・「災害時、あなたならどう動く？」
～災害対応シュミレーションゲーム
「クロスロード」を体験して学ぶ～

対 象 者　災害ボランティアの活動に参加したい方
関心のある方

募集人数　20名（申込順）

受 講 料　無料

申込締切　1月6日（金）

〈申込み・問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会　総務課
担当　松本 ますみ　☎590-1112

耳が聞こえにくい人とのコミュニケーションをとるために

「要約筆記」って知っていますか？

10月12日～12月7日（毎週水曜日）、全8回コースで、四季の森生涯学習センターIT講習室において、要約筆記啓発講座を開催中です。

要約筆記とは、聞こえに不自由のある人のために、その場で話されている内容を要約し、文字にして伝える聴覚障害者とのコミュニケーション手段の一つです。講演会や研修で要約した文字をスクリーンに写しだして伝えたり、聴覚障がい者の横で会議や研修の要約をしたりと、中途失聴者で手話や、口の動きを読む「読話」が使えない人にとっては、要約筆記は社会参加に欠かせません。しかし、まだなじみが薄いのが現状です。

市内で唯一の要約筆記ボランティアグループ「うりぼう」では、年々依頼が増え、活動の場も広がっています。きっと皆さんも、目にしたことがあるのでは･･･

今回は、パソコンを使った要約筆記を学んでいます。興味のある方、ボランティアをしてみたい方は、ぜひ、声をかけてください。

心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

と き	と こ ろ	
12月 2日(金)	9：00～11：30	丹南健康福祉センター
9日(金)	9：00～11：30	篠山市民センター
15日(木)	13：30～16：00	城東公民館
16日(金)	9：00～11：30	丹南健康福祉センター
1月 6日(金)	9：00～11：30	丹南健康福祉センター
13日(金)	9：00～11：30	篠山市民センター
20日(金)	9：00～11：30	丹南健康福祉センター
26日(木)	13：30～16：00	ハートピアセンター
27日(金)	9：00～11：30	篠山市民センター

篠山市の福祉指標

（平成28年10月末現在）

地区	人口	65歳以上人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下人口(人)	年少率	増減
篠　山	12,434人	4,070人	32.7%	⬆	1,396人	11.2%	⬇
城　東	3,282人	1,323人	40.3%	⬆	269人	8.2%	⬆
多　紀	3,239人	1,449人	44.7%	⬇	288人	8.9%	⬆
西　紀	4,177人	1,346人	32.2%	⬆	513人	12.3%	⬇
丹　南	15,959人	4,392人	27.5%	⬇	2,188人	13.7%	⬆
今　田	3,569人	1,186人	33.2%	⬆	357人	10.0%	⬇
計	42,660人	13,766人	32.3%	⬆	5,011人	11.7%	⬇

善意銀行だより

9、10月分　（敬称略）

金銭預託

宇杉興一（和歌山県）	亡母の供養…100,000円
井関道夫（曽地奥）	善意の預託…　20,000円
藤木千晧（9、10月）（小中）	善意の預託…　30,000円
松本美千代（9、10月）（井ノ上）	善意の預託…　6,000円
桂む雀さんを勝手に応援する会	善意の預託…　19,968円

物品預託

芦田富基子（9、10月）（今田町芦原新田）

鉢植えの花15鉢…今田地区ひとり暮らし高齢者

飯田成代（9、10月）（垣屋）	折り紙細工…給食サービス
西澤昭美（9、10月）（栗柄）	折り紙細工…給食サービス
小山玲子（9、10月）（大沢新）	折り紙細工…給食サービス
田中光子（9、10月）（川北新田）	折り紙細工…給食サービス
俣野孝一（大山下）	玄米60kg…給食サービス
朝治信彦（西荘）	新米30kg…給食サービス
澤野正憲（曽地中）	ぶどう5kg…給食サービス
家治川貞夫（小枕）	さつま芋25kg…給食サービス
山本恒喜（波賀野新田）	さつま芋18kg…給食サービス

あとがき

平成28年11月9日

大隅良典さんが、ノーベル医学生理学賞を受賞されました。その理由は、「オートファジーの仕組みの発見」・・・。基礎科学の分野で、あまり人がやろうと思わない研究とのこと▼大隅さんは、「これをやると良い結果が生まれる」という研究だけでなく、自分が「なぜ」と思った疑問や興味のあることを、コツコツ積み重ね、チャレンジすることの大切さを話され、この余裕が社会にも必要と・・・▼今年もカレンダーが、もう1枚となりました。来年は、まだ1枚となりますように。

篠山市ファミリーサポートセンター

地域で支えよう
子育ての応援をしたい方募集中！

篠山市ファミリーサポートセンターは、「子育てを応援してほしい人」と「子育てを応援したい人」を、つなぐお手伝いをしています。

子どもの好きな方、子育て経験を生かしたい方、地域な中で何か手助けをしたいと思われている方、協力会員として活動しませんか！

会員登録は、センターで随時行います。詳しいことをお聞きになりたい方は、ファミリーサポートセンターまで、お気軽にお問い合わせください。

【子どもの預かりの例】

- 保育園、放課後児童クラブの終了時間に間に合わないときのお迎えと預かり
- 上の子の学校行事（参観日、プール当番など）の際の下の子の預かり
- 子どもと一緒に行くことができない用事（病院や美容院など）の際の子どもの預かり
- 求職中（面接や会社説明など）の子どもの預かり
- 子ども一時預かり“かんがるー”での託児　など

各地域に協力会員さんがいてくださることが、子育て世代の方々の安心につながります。ご連絡お待ちしています。

子ども一時預かり　“かんがるー”

と　　き：12月15日（木）、1月19日（木）
午前10時～12時
と こ ろ：四季の森生涯学習センター東館　和室（2F）
定　　員：10名（生後6か月～就学前のお子さん）
利 用 料：子ども1人につき　1回500円
申込締切：・各実施日の1週間前までに、お申し込みください
・利用には申し込みが必要です
・会員以外の方も利用できます
・定員になり次第締め切らせていただきます

〈申込み・問い合わせ先〉
篠山市ファミリーサポートセンター
担当　林 直美　☎590-1388

この広報紙は共同募金の一部助成を受け発行しています。